南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ（日記の一種：掲載許可済み）等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方（滞在の方・避難された方等）が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありません**、同じ市民同士の生の意見として参考までとしていただきたいと思います。**正式な指針は政府**が出します、そちらにしたがう事で各種補償も受けられます。どうぞその点を誤解なきようお読みください。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
今まで協力いただいた先（判明している所のみ）：長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ　配布協力避難所：新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか
新聞 PDF 置場 http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

分岐点　ありがとう

被災者になって学んだこと、考えたことなどを毎日かいていきます。 大変だけどありがとうだけでも忘れないでいよう。

2011 年 06 月 27 日(月) 00 時 40 分 07 秒

http://ameblo.jp/kanasanndoo/entry-10935721870.html

皆さん、こんばんは、キャナです。
私は郡山に来たこと、今でも悩んでます。
夢のためにきた。
けれどそれが本当に良かったのか。
ここに来てから母とは喧嘩ばかりです。
もうどうすれば良いのか、頭がごっちゃりしてて何が何だか…
夢のために郡山にきて正解か、夢を諦めて家族を優先するべきだったか。
正解が出る日はいつなんでしょうね。
ここにきて自分の本性とか、大切なものがわかりました。
そしてそれをクリアしていくうちに自分が横暴でわがままになっていく。
私って馬鹿みたいですね

##

南相馬市から6月28日朝　サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2011-06-28 05:20:59

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/f6925582e0ab8a88e8a5b279d3201834

最近、こう思うことがあります。いままで商売を通じて学んできたことの多くは、目上の人、先輩経営者の方や、年上の方たちのお話や経験談、経営方法など常に自分より年上の方たちの方を、向いて学んできたような気がします、そしてそれが正しいと信じていました。

しかし、今回の震災を通じて今までのような経験ややり方、お国頼りの考え方、規制の枠の中だけでの考え方、行動、がどうやらこれから、いやまさに今現実、日々商売について役に立たなくなっていると言うか、合わなくなっていると言うか、時代に自分の考えがついて行かないのか、遅れているのか、新しい考え方をしていかなくては、取り残されよ様な不安に駆られます。

今、自分より若い経営者や商売を通じて話をする若者たちの言動が気になり始めました。まさに、これからの時代を作っていく人たちです、やはりそういった人たちの意見や考え方を今まで以上に耳を傾けていかなくては、取り入れていかなくては、ならないし、面白くもあります。 年を取ってくると昔話が多くなってきますが、商売をしている者とすれば、やはり重要なのは将来、近未来の話の方が大事ですよね。情や人情に厚い団塊の世代の方たちは大変元気ですよね、その団塊の世代の子供達（30～40歳）納得の世代だといいます。情や人情より自分の好きな事を優先する傾向が強い世代だと聞きます。自分が納得すればとことんやり始める行動力があるそうです。 こういった世代が中心になっていく社会で生き残っていく商売の在り方を早急に考え、実践していかなくてはと考えています。

##

「一時帰宅」してきました

負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。　2011-06-28 22:02:46

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/aa62107269d77a32da1bbe32d30b9cf9

避難所で苦労をともにした同志K君（第一次仮設入居者）と
久しぶりに出会えたことが　・・・　一番うれしい！！

本日（28日）
「一時帰宅」がありまして　・・・
先ほど戻りました。

午前4時30分　三条市を出発
南相馬市　小高区（警戒区域）の自宅に入り（約2時間）
午後9時30分　三条市に戻りました。

長い一日でした。

まずは　まずは　変則的ですが
後ほど（明日）　編集ということで　・・・
ご報告まで　！

もちろん　もちろん　元気であります。
このところ　いろいろとありまして　・・・
多忙をきわめております。

##

〈原町区〉6月27日の活動報告♪

南相馬市災害ボランティアセンターのブログ

2011-06-27 17:46:26

http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-10935914983.html

今日も一日お疲れ様でした
今日も朝から雨で、肌寒い一日でしたよ
こうも毎日雨だと憂鬱になりますよね

↑この花はタチアオイという花ですが
この花が一番上まで咲くと梅雨が明けると聞いたことがあります。た～くさんの花が咲いて早く梅雨が明けるといいですね
　そんな雨だった今日の活動者数は　66人（県内19人　県外47人）　ニーズ件数　7件でした。
屋外の作業は中止になりましたが屋内の作業には全てのニーズに対し必要人数を送り出すことができました
雨の中来て下さったみなさん、どうもありがとうございました
明日6月28日（火）の募集内容ですが
☆活動件数　11件　90人程度のボランティアさんが必要です。
☆活動内容　流出物の洗浄・展示　避難所の運営補助　食器棚の組み立て　仮設住宅用布団の希望者受付・運搬　物資の仕分け作業　泥出し作業となっております。
　明日の天気予報はくもりのち雨　最高気温は27℃
明日は気温が上がりムシムシすると思います
熱中症対策として、水分・塩分を用意してきて下さいね
それではみなさん、明日もよろしくお願いします
:..o○☆゜・:,。:..o○☆*:..o○☆゜・:,。*:..o○☆*:..o○☆
ごあいさつ
私事ですが、約1ヵ月半ブログを担当させていただきましたが
私が書くのは今日が最後となりました。
私は地元のボランティアですが、スタッフとして活動させていただいていました。
毎日、県内外から沢山の方が来て下さり、本当にありがたい気持ちでいっぱいです。
来て下さったみなさんへの感謝の気持ちブログを見て下さってる方々が少しでも笑顔になれるように・・・
そんな思いを込めて毎日書いてきました。
少しでも伝わっていたら嬉しいです。
毎日、空や花、風景を載せてきましたが全てその日の南相馬市のものです。
最後の今日は、私が好きなひまわりです
6号線沿いの一角にきれいなひまわり畑があり、そこで撮ってきました。
元気よく上を見て咲いています。
私たちも前に向かって元気に歩んでいきたいと思います

明日からは別の担当者が、もっと楽しいブログを書いてくれると思いますので引き続き見て下さいね
今日までどうもありがとうございました

##

【　ハワイの子どもたちから届いた愛とは?　】

ヨシユキ副園長 よつば青雲ブログ　よつば保育園ヨシユキ副園長が、青雲の志で保育を綴る!　2011 年 06 月 28 日

http://yotsuba-ho.seesaa.net/article/212168749.html

6月16日の朝5時、私の携帯に1通のメールが届きました。
内容は以下の通りです。

近藤副園長様、
初めまして。私はハワイに在住しております由美ナスレラと申します。
ブログを拝見してメールさせて頂きます。
私は二児（5歳／7歳）の母で両親は東京に在住してます。
3月11日の地震直後、子供達が「日本の子供達を助けてあげたい」と街頭募金をしました。
少しではありますが、その資金で園児にお役に立て出来る物資をぜひ送らせてください。
簡単ですが、お返事お待ちしております。
由美ナスレラ
…ん?ハワイから?ブログを見てメール?
…子どもたちが街頭募金～!?

驚きながらも、せっかくのご厚意を受けさせて頂く旨をご返事しました。
するとナスレラさんからメールが…。

ヨシユキ副園長様、早速のお返事ありがとうございます。
元々私の子供達が日本の子供達に何かを送りたいということで募金活動をしたので、園児に喜んでもらえる物がありましたらぜひ教えてください。
由美ナスレラ

…園児に喜んでもらえるもので、
…ハワイから送っても大丈夫なもの
…ハワイで売っているもの…はて??

いろいろ考えましたがパッと浮かばず結局“ハワイらしいもので”とご提案させて頂きました。
…するとナスレラさんからご返事のメールが届きました。

副園長先生、
お忙しい中、お返事ありがとうございます。
それではハワイの事を学んでもらえるような本や、子供達が大きなスマイルをしてくれるような物を送らせて頂きます :)
息子のビンセント（7歳）、そして娘レイラ（5歳）が日本の子供達を助けたい！という思いで春休み中毎日ワイキキ通りで募金活動をしました。
遠いハワイから何も出来ず、どうしたらこの集まった募金を災害にあった子供達の手元に渡せるんだろう？とこの3ヶ月悩んでいました。
今回副園長先生のブログを通して何かのご縁につながり、園児、保護者、そして職員の方々に私達の思いが伝わればと思います。
これから梅雨に入り天候も不安定になると思いますが、お体を大切に園児達の為にがんばってください。
ハワイから応援しております。
由美　ナスレラ

…いやー、ビンセント～!!そしてレイラ～!!ありがとう!!!うれしいよ!!!!
街頭募金を子どもたちが進んで行うなんて…思いが熱いよ!!
ハワイの暑さにも負けないくらいね。

せっかくなので、このメールをこのブログに掲載して、ビンセントとレイラの思いとその行動を日本のみんな、いや、世界のみんなに伝えてもいいですか?と訊いたところ、快く了承いただきました。

副園長先生、
こんばんは。
私達の活動が何かのお役に立てるのであれば、ぜひ何でも使ってください。
日本での地震直後、私達ハワイ市民も津波警報がだされ、夜中の12時に子供達を連れて避難をしました。
翌日まで東京と栃木にいた両親と連絡が出来ずパニックになっていた私をみて子供達が「Let's help Japan!」と励まされ、自分たちが飲むオレンジジュースやりんごジュース、それからお菓子類を路上で売り、通り過ぎる車に手を振りながら募金活動をしました。
中には子供が5人もいてボロボロの洋服を来たサモア人の家族が10ドル札を手渡してくれたり、高校生の子供達がポケットからグチャグチャになった一ドル札をくれたりもしました。
毎日ニュースを見て泣いている私を見て、子供達は春休み中も毎日募金活動をしたいと言い出したんです。
そこで一番賑わっているワイキキのカラカウワ通りにテーブルを置き、首からはテッシュ箱で作った募金箱をさげ毎日がんばりました。
副園長先生を含め皆さんに知って頂きたい事は、募金をしてくれたのは遊びにきている日本人観光客ではなく、言葉も人種も違うハワイ市民を含む外国人でした。
カナダ、オーストラリア、アメリカ本土、ブラジルなど、募金をしてくださった皆さん一人一人から「日本の為にがんばってくれてありがとう」「少しでもこのお金で日本の子供達に役に立ち

ますように」という励ましのコメントを沢山頂きました。
ですので、近々送らせて頂く支援物資は私達家族だけではなく、ここハワイに訪れていた世界中の人々の暖かい心がこもっている事をぜひ皆さんに教えてあげてください。

Aloha,
ナスレラ一家
ジェフ、由美、ビンセント（7歳）＆レイラ（5歳）

…以上がこれまでのメールのやりとりです。

募金をしている様子の写真です。↓

先般、よつば保育園の卒園児の小野田こうき君が、自分のおこづかいから支援物資を買って、お父さんが届けてくれたお話を載せたことがありましたが、覚えていますか??

こうき君(&くみちゃん)、ビンセント君、レイラちゃんとの共通点は“子ども自らが考えて、そして、行動した”ということです。
そして、“自分のことだけじゃなく、他人を思いやる心をもっている”ということも。

もちろん、お父さん・お母さんの教育の賜物と思いますが…
それにしてもなかなかできることではありませんね。
どうですか、大人の皆さん!!
考えているだけじゃなく、動いてこそ伝わるんです。
子どもに負けていられないですよね。
当よつば保育園の子どもたちも、将来大人になったら
困っている人を
助けてあげられる
支えてあげられる
手をさしのべてあげられる
そんな大人になって欲しいな。
ハワイの応援して頂いている現地の皆さん、
本当にありがとう!!

##

構想会議答申　復興への提言～悲惨のなかの希望～

森民夫の「ほっと一息」 ―長岡市長としての公務の合間に「ほっと一息」感じたことをお伝えします―

（2011 年 6 月 26 日 20:02）
http://tamionet.com/blog/2011/06/2011-06-26-kousoukaigi%20.php#more

6 月 25 日、復興構想会議が「復興への提言～悲惨のなかの希望～」と題した提言を取りまとめました。
首相官邸で開催された最終会議に私も出席、目の前で五百旗部議長が菅総理大臣に提言をお渡ししました。（写真上）
4 月からの 2 ヶ月間に、中越地震の経験を構想に生かすため、親会議と検討部会（写真下）とで合計 20 回の会議に出席しましたが、ようやく成案を得て本当に「ほっと一息」です。

私の役割は、中越地震の経験を生かしつつ、現地の市長さんの強い思いを代弁することでした。そのため、市長さんと頻繁に電話やメールで意見交換をしながら検討を進めました。
結果的に、市町村が復興の主体であること骨子の一つとなり、特区、交付金、復興基金等、その骨子を裏付ける具体的な手段や財政措置を盛り込むことができ、現場を大切にするという筋が一本通った構想になったと思います。

課題はまだまだ山積していますが、構想が固まったことで、中越地震の復興の経験がこれから大いに発揮できる条件が整いました。
被災地の復興に対する支援を、なお一層の力を込めて実施しなければならないと考えています。